

キャラクター名

プレイヤー名

フィロス・バーガンティ

メインクラス	メイジ	Lv.1:		レベル	7
サポートクラス	セージ	Lv.1:	セージ	性別	男
称号クラス				年齢	18
種族	エルダナーン			境遇	傷病
出自 (効果)	英雄			目標	戦い好き

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運	
基本値	9	8	12	23	10	12	9	
ボーナス	3	2	4	7	3	4	3	
クラス修正	0	0	0	2	2	1	1	
他修正					1			
能力値	3	2	4	9	6	5	4	

HP	52
MP	81
フェイト	5

	装備品	射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	封精魔杖・火	至近	-1	5					
左手									
頭部	封精頭巾				0	3	0		0
胴部	封精長衣				0	5	2		0
補助	エルダナバングル※						2		
装身具	理知の宝玉								
	能力値		2	0	4	0	5	10	8
スキル									
その他									
	総計(右)		1	5					
	総計(左)		2	0	4	8	9	10	8
	総計(両)		1	5					m
	ダイス数		2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数		所持品
トラップ探知	6			6	+ 2 d		リトルケブラ -HPポーション
トラップ解除	2			2	+ 2 d		ベルトポーチ -MPポーション
危険感知	6			6	+ 3 d		異次元バッグ -MPポーション
エネミー識別	9	6		15	+ 3 d		小道具入れ -MPポーション
アイテム鑑定	9	6		15	+ 2 d		-転送石（ギルド）毒消し
魔術判定	9	6	3	18	+ 2 d		-虹の輝き ランチボックス
呪歌判定					+ d		-月光の種 野菜
錬金術判定	2			2	+ d		-転送石（ヒルベニア）野菜
							-ロープ 野菜
							ポーションホルダー にく
							-HPポーション にく

現在重量：8

最大重量：21

所持金：24123

預金・借金：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
マジックセンス	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果：	作成時に知力基本値+3							
マジシャンズマイト	4	-	パッシヴ	-	自身	自動成功		
効果：	魔法攻撃のダメージに+[SLd]する。							
イフリート・シマー	1		パッシブ				ファイアロード	
効果：	火属性魔法ダメージを1点でも与えた場合、対象の命中判定-1D(ラウンド終了まで持続)							
コンコーダンス	1		パッシブ					
効果：	エネミー識別をシーン全体に行う							
ファイアロード	5		パッシブ					
効果：	火属性魔法ダメージを与える魔法攻撃のダメージに+SL*4							
ハイウィズダム	3		パッシブ					
効果：	知力判定+SL*2							
エンサイクロペディア	1	-	Su	-	自身	自動	-	
効果：	エネミー識別を行う							
マジックブラスト	2	3	ムーブ	-	自身	自動成功		
効果：	「タイミング：メジャー」「対象：単体」「分類：魔術」の対象を「範囲(SL*2)体」に変更する。MP終了まで持続							
ファイアボルト	1	6	M	20m	単体	魔術判定		
効果：	2D+10火属性魔法ダメージ							
リゼントメント	1		効果参照				メイ・シリア	
効果：	魔法攻撃と同時に使用。魔法攻撃の対象を※単体に。ダメージ+[CL*10]							
トリビアリスト	1	6	判定直前	-	自身	自動		
効果：	判定直前に使用。その判定を【知力】判定で代用判定する							
ブーストマジック	1		m					
効果：	魔法攻撃のダメージに+【感知】							
コンセントレイション	1		パッシブ					
効果：	魔術判定+1D							
エルダーマジック	1		パッシブ					
効果：	魔術判定+1D							
オピニオン	1							
効果：	交渉・説得などの【精神】判定+1D							

「熱く煮えたぎる闘争こそが我が望みさ！さぁ、魔法戦を始めよう！」
「我が父、そして我が母の名前に縋って生きてきたつもりはないが…比べられると、どうも…。上手くいかないね」
「"我が友人"の事については他言無用で願いたい。これは僕がこのギルドに入る際にグレイブさんにも約束してもらったことなんだ」

・英雄の両親がいる。
・その英雄が冒険の中で託された小さい古代竜がいる。
・昔その古代竜にじゃれられて、大きなキズと火傷を負い、生死を彷徨った。傷と火傷の跡は胸のあたりに大きく残っており、爛れている。
・傷を火を負った時から、火に対する魔力が大きく目覚めた。
・「英雄の息子」から「英雄」になるため、冒険者として成長すべくギルドに加入することにした。
・古代竜がその時に着いてきた。懐いているのか、彼に埋め込まれた古代竜の火の因子に共鳴しているのかは不明。両方じゃない？
・将来は独り立ちし、自身のギルドを持ちたいと考えている。
・古代竜のことを"最も古き友" や "友人"と呼ぶ。呼び名が必要な際には「ラピス」（石）と呼ぶ。
まちなかではカバンに入れているが、遺跡の中などでは出てくる（あまり長い時間隠れていられるほど、"友人"は気が長くない。短気な禰豆子。）
・竜の名前は不明。既にその真名は存在しているが、軽々しく呼ぶべきものではない。

追加設定
アルディオン大陸東方の出身

父親は英雄級の神官。メルトランド王国の老人の姿をした樹の精霊"エリカ"を信奉している。
母親は英雄級の魔術師。火の魔術師

1人称：僕

